

<b>活動名</b> 障がい児の余暇活動と支援	<b>団体名</b>	府中町手をつなぐ親の会
	<b>地域</b>	広島県安芸郡
	<b>代表者</b>	会長 松本 真理
	<b>支援金額</b>	15万円
<b>活動概要</b>		
<p>主として月1回定例会を聞き、情報交換や余暇活動の準備をしている。余暇活動は、プール、リズム、スポーツ、音楽、料理など様々な活動を実施し、一人一人が興味、関心を持ち、力を発揮できる活動を考える。また、周囲の人たちへの理解を深め、共生できる社会づくりを目指し、研修会等を提案する。</p> <p>①(子どもの自主的活動のある)夏祭り ②バス遠足 ③保護者反省会</p> <p>◆実施時期 ①夏祭り 8/25 (土)府中町老人福祉センター福寿館 ②バス遠足 10/21 (日)やまだ屋おおのファクトリー、ちゅーピーパーク ③保護者反省会 12/6 (木)ソレイユ内飲食店</p> <p>◆参加人数 ①夏祭り大人15人、子供22人、ボランティア33人 ②バス遠足大人8人、子供10人、ボランティア5人 ③保護者反省会大人15人</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:108名</p>		



バス遠足！ちゅーピーパークにて集合写真



夏祭り トントン相撲



夏祭り ぶんぶんゴマ作り  
ゴマに好きな色付けをしています



夏祭り  
みんな大好き！流しそうめん

◆実施に伴う効果

- ①障害のある子供は普段助けられる側であるが、障害児が集まる中でお互いを助け合う行動がみられた。また、ボランティアさんと仲良くなり、積極的に話しかけたり、一緒に遊んだりする行動がみられた。
- ②バス遠足  
館内での取り組みが多い中、屋外での活動、団体行動の支援の方法を学ぶことができた。
- ③来年度に向けた話し合いをしたほか、月 1 回の定例会ではなかなか話せない、わが子に対する悩みや不安等を同じ障害を持つ保護者同士で、話し合うことができ、とても有意義な時間となった。

◆苦勞した点

- ①夏祭り  
子供と積極的に関わられるボランティアが少なく、子供とどう向き合っているのか理解できていないような感じがした。ボランティアから子供へ積極的に声かけをし、子供と一緒に遊んでもらえるよう、保護者からボランティアへの声かけもしていきたい。
- ②バス遠足  
各校の学校行事を優先すると日程調整が難しく、今回は他の行事等と重なった人も多く、参加人数が少なかった。参加希望者になるべく参加できるよう、きちんと日程調整を行いたい。また、今回は観光シーズンの 9 月に実施したため、貸切バスを手配するのが難しかった。
- ③特になし

◆今後の課題・発展の方向性

- ①夏祭り  
それぞれの子供たちができる取り組みを見直し、少しずつ自主的な活動を楽しめるよう増やしていきたい。
- ②バス遠足  
広範囲での行動の仕方、ボランティアの支援の仕方など多くの課題はあるが、活動の枠を広げ、屋外での活動も取り組みたい。  
ボランティアとの事前打ち合わせ、確認事項を明確にし、実施したい。
- ③保護者はわが子に対してたくさん悩みを抱えているが、なかなかゆっくり話せる機会がない。定期的にこのような会を設け、お互いに話し合える時間が持てるとういなどと思った。

◆活動を終えての感想・意見等

支援していただいたおかげで、例年になく活動を実施することができました。有意義な活動となり、子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともご支援をよろしくお願い致します。